

コード	20202
作成年度	24年度

基本事業評価表

基本事業名称	住民ニーズに対応した公営住宅の充実
--------	-------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備

課コード	119	関係課名	
主管課名	建築課		

基本事業の目的

地域の特性を活かした安全で快適な住環境を整備するとともに、高齢者向住宅、バリアフリー型住宅等住民のニーズに対応した良質な公営住宅の計画な供給を図ることを目的とします。

基本事業の成果

成果指標名称 1	公営住宅戸数	成果指標名称 2	高齢者向住宅戸数				
成果指標の積算根拠	目標戸数÷実績戸数	成果指標の積算根拠	目標戸数÷実績戸数				
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度				
目標達成数値	346戸	目標達成数値	11戸				
年 度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
成果指標 1	目標 A	戸	346	346	346	346	346
	実績 B	戸	358	358	357	356	
	達成率 B/A	%	96.6	96.6	96.9	97.1	
成果指標 2	目標 A	戸	11	11	11	11	11
	実績 B	戸	2	2	2	2	
	達成率 B/A	%	18.1	18.1	18.1	18.1	

1次評価	現状	公営住宅のうち、昭和40年以前に建設された木造平屋住宅、昭和45年以前に建設された簡易耐火平屋住宅、また、昭和50年前後に建設された簡易耐火2階建住宅等については、老朽化の進捗により改修整備や建替え等を必要とする住宅も多く、厳しい財政状況下、必要最低限の対処的維持補修にとどまっている。
	課題	耐用年数を超えた不良住宅ストックの解消を図りながら必要な住環境整備を進める必要があるが、老朽化した既存住宅の建替えや改修、維持補修、解体等については、今後多大な費用を要する。
	改善	老朽化した公営住宅の改修や建替え及び統廃合については、公営住宅の需要や地域の実情、将来の動向も踏まえて、昨年策定した公営住宅長寿命化計画に基づき、多様化した町民ニーズを的確に捉えながら計画的に推進するとともに、引き続き、既存公営住宅の適正管理に努める。

2次評価	公営住宅長寿命化計画に基づき、多様化した町民のニーズを的確に捉えながら計画的に実施するとともに既存公営住宅の適正管理に努めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	202020103	若松電ノ浦団地解体事業	建築課	-	(途中) このまま事業を継続
2	202020105	公営住宅長寿命化計画策定事業	建築課	4,200千円	(事後) 平成23年度で事業完了
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				4,200千円	